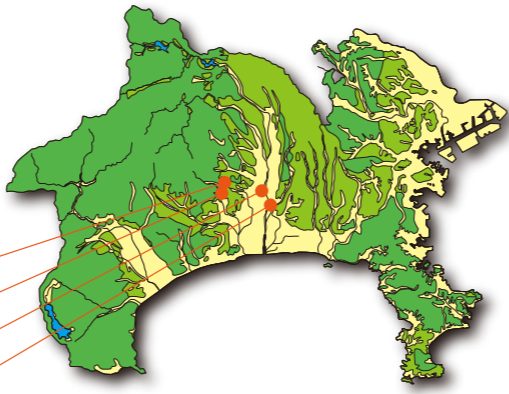


発掘現場インフォメーション

発掘調査中または出土品整理中の遺跡を紹介します。
 今回は厚木市「戸田小柳遺跡」寒川町「宮山中里遺跡」の調査について、
 そして伊勢原市「上粕屋・石倉中遺跡」から発見された
 大山道について紹介します。

- 西富岡・向畑遺跡
- 上粕屋・石倉中遺跡
- 戸田小柳遺跡
- 宮山中里遺跡



発掘コラム

発掘された大山道～上粕屋・石倉中遺跡～



▲道状遺構の路面と石積



▲道状遺構の完掘状況、1m程の深さです

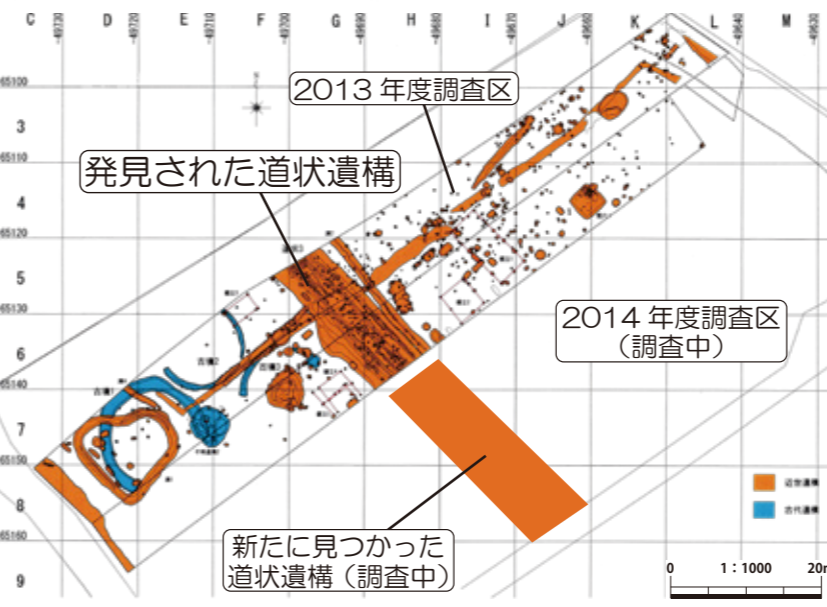
上粕屋・石倉中遺跡からみた大山

伊勢原市上粕屋に所在する上粕屋・石倉中遺跡第2地点の調査において、大規模な道跡が発見されました。道跡は上幅が8～10m、下幅4m、深さ1mの堀割状を呈する大規模なもので、約45mを調査しました。底には堅く締まった土の層（路面）が重なっています。また部分的にですが、側壁に沿って石積がありました。道跡は調査区の北西から東南に向けて直線的に伸び、その規模と方向から、江戸時代に大山に参詣するための「大山道」(※)であると判断されました。

発見された道跡の伊勢原市街側の延長線上には、旧田村通り大山道とされる堀割状の遺構があり、道状遺構はかつての田村通り大山道の一部と考えられます。道跡の底面からは17世紀前半の陶磁器が出土し、また覆土(※)の上に形成された畝状遺構(※)が宝永4年(1707年)の富士山噴火で噴出した宝永火山灰(※)に埋もれていたことから、少なくとも発掘された範囲については、17世紀前半代に使用され、18世紀初頭には道としての機能を失って埋没していたことがわかりました。

現在も地表で観察できる旧田村通り大山道の遺構については、他の大山道とは道幅や構造などが隔絶した規模であることから、江戸期より古い道である可能性が指摘されたことがあります(註1)。今回の調査はこの旧田村通り大山道についての、初めての本格的な考古学的調査となりました。

(註1) 安藤洋一 2011「再発見大山道調査」伊勢原市教育委員会編『伊勢原市内の大山道と道標』



▲発見された道状遺構と旧田村通り大山道との位置関係

- 用語集**
- 大山道……大山阿夫利神社へ参詣する人びとが通った古道。藤沢から発する田村通り大山道や、江戸から延びる青山通り大山道が有名。
 - 覆土……遺構の中に堆積した土。
 - 畝状遺構……畑の耕作跡と考えられる、細長い直線的な掘り込みが複数並列する遺構。
 - 宝永火山灰……江戸時代の宝永4(1707)年に発生した、富士山南斜面の噴火で噴出した火山灰。遺構の年代を把握できる「鍵層」。

整然と並ぶ杭列…弥生時代の流路跡

本遺跡は、小田急線本厚木駅から約3.6km南の厚木市酒井に所在し、相模川右岸の自然堤防(わずかな高台、標高約13～14m)に立地しています。新東名高速道路建設に伴い調査により、これまでに、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世、近世の溝状遺構が発見されています。

弥生～奈良時代の溝状遺構は主に南北方向を、中・近世では主に東西方向を軸としています。



▲古墳・弥生時代の溝状遺構、緩やかな掘り込みをしています

中世、近世の溝状遺構は断面が逆台形を呈するなどしっかりと掘り込みが確認され、人の手で掘られた遺構と考えられます。

一方、弥生時代や古墳時代の溝状遺構は掘り込みがはっきりとせず、断面形が広いレンズ状を呈することから、自然に形成された流路の可能性が考えられます。Y1号溝状遺構からは土器や石器などの遺物をはじめ、杭列が検出されており、もともと自然流路であったところに人の手を加えて利用していたのではないかと推測しています。



▲Y1号溝状遺構の杭列、150本以上発見されました

住居を囲む大溝…弥生時代の環濠発見

相模川左岸の自然堤防上に広がる宮山中里遺跡は、弥生時代～近世までの遺構と遺物が発見されている遺跡です。昨年度の調査では、弥生時代の竪穴住居跡(イエ)とその周りに溝がめぐっているのが確認されました。住居の周りに「環濠」と呼ばれる溝をめぐらした弥生時代の集落(ムラ)は「環濠集落」といわれます。



▲発見された環濠



▲環濠の底から出土した土器

今回の調査の結果、宮山中里遺跡では環濠集落を構成する溝が竪穴住居を数軒、取り囲んでいることが明らかになりました。溝は外敵からの防衛のために掘られたのではないかと考えられております。この溝からは壺などの弥生土器を含む遺物がたくさん出土しました。おそらくこのムラの人びとが捨てたのではないかと推測されます。

厚木市 戸田小柳遺跡 厚木市酒井所在

時代…近世、中世、奈良・平安時代、古墳時代、弥生時代、縄文時代
 調査期間…平成24(2012)年12月～平成25(2013)年5月、同年7月～11月、平成26(2014)年5月～8月

寒川町 宮山中里遺跡 高座郡寒川町外所在

時代…近世、中世、奈良・平安時代、古墳時代、弥生時代
 調査期間…平成25(2013)年4月～平成26(2014)年3月